



EMPIRE8000P

about EMPIRE>>>完成度の高さと美しいデザインが魅力 ￥660,000(税込)

アメリカのNYに本拠地があったメーカー。元々は軍需用の精密機器メーカーとして最高レベルの技術を持っていた会社。戦後になってその優れた技術をベースにオーディオに最も重要と言われる入口(カートリッジ、プレイヤー)と出口(スピーカー)にこだわって高い技術と独創的なアイデアで完成度の高いハイエンド製品を70年代後半まで生み出していた。日本ではカートリッジとプレイヤーが有名だが、60年代に入ってから発表されたスピーカーは当時その音の完成度の高さとデザインの美しさで全米で絶賛されたのでした。

■SIZE : H730×W375

■ユニット/ 1960年代中期 アルニコマグネットを使用した3ウェイバスレフ型システム。下向き12インチ(30cm)ウーファー。ウーファーの素材は、紙のコーンに布のエッジ。ツイーター、ミッドは、シルクにフェノリックという樹脂を薄く何層にも塗りダイアフラムを形成しているフェノリック製ユニット。ドーム状に形作られていて、時間と手間がかかるので今ではとてもではないが中々作れない技術なのだそう。すべてが天然素材で作られています。

■エンクロージャー/ 当時としては最先端のメラミン加工仕上げの継ぎ目なし。それに伴い通常の仕上げより強度が増しています。特に8000Pはシンプルでモダンなデザインのため高級な無垢のマホガニー材を贅沢に使用されています。こちらのタイプだけはバスレフ型なので背面に穴あり。抜けのいい低域が何とも心地よく、きめ細かさや滑らかでツヤのある音質が形成されます。反応が速く、よく弾む低域は巨大なマグネットで駆動されるためヴァイオリンや、金管楽器などの音楽を楽しんでいただけます。スピード感があるROCKやフュージョンも意外と聴けます。天板が大理石になっているモデルもあり、テーブルとして使用して良いのも魅力です。

